

# 第三大臼歯（親知らず）の 抜歯と保存について

必ずしも、親知らず＝抜歯するものとは限りません。骨格の形、大きさや歯の大きさにより第三大臼歯を抜歯するか判断します。しかし、9割の方の親知らずは何かしらの悪影響を与えていますので、症状が出る前に予防的に抜歯することをお勧めします。

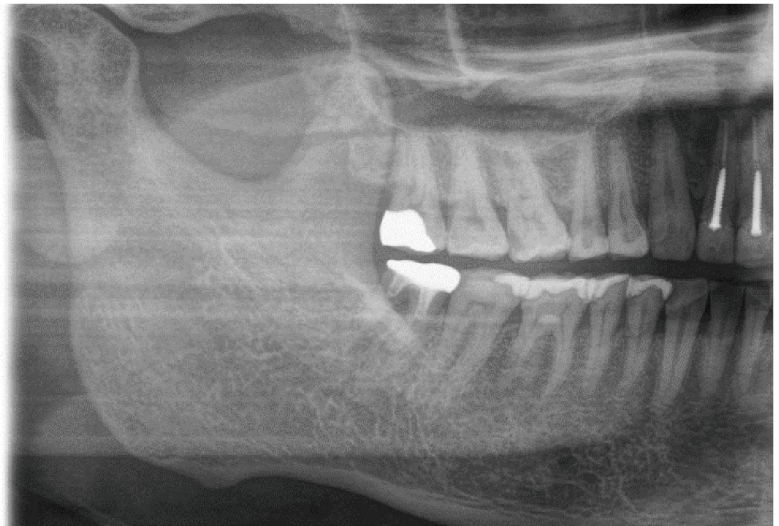


## 口腔内を清潔に保つことが1番大切！

きれいに生えていない親知らずは不衛生になります。虫歯、歯周病は感染症ですので、ほかの歯がきれいでも親知らずから虫歯、歯周病が感染します。

親知らずの有効利用、第二大臼歯との代替え治療も考慮しています。

しかし、不衛生で保存状態が良くない方がほとんどなので、何かトラブルがあったらその時に使いましょうという意見もありますが、実際はほとんど使えないのが現実です。親知らずの存在がマイナスになっていることが多くみられますので、検査を受けましょう！



▶骨格がブレーキ型  
咬耗咬合タイプ（歯の消耗が激しい）  
このような方は咬合維持をしているので  
親知らずを積極的に抜歯しなくて良いです。